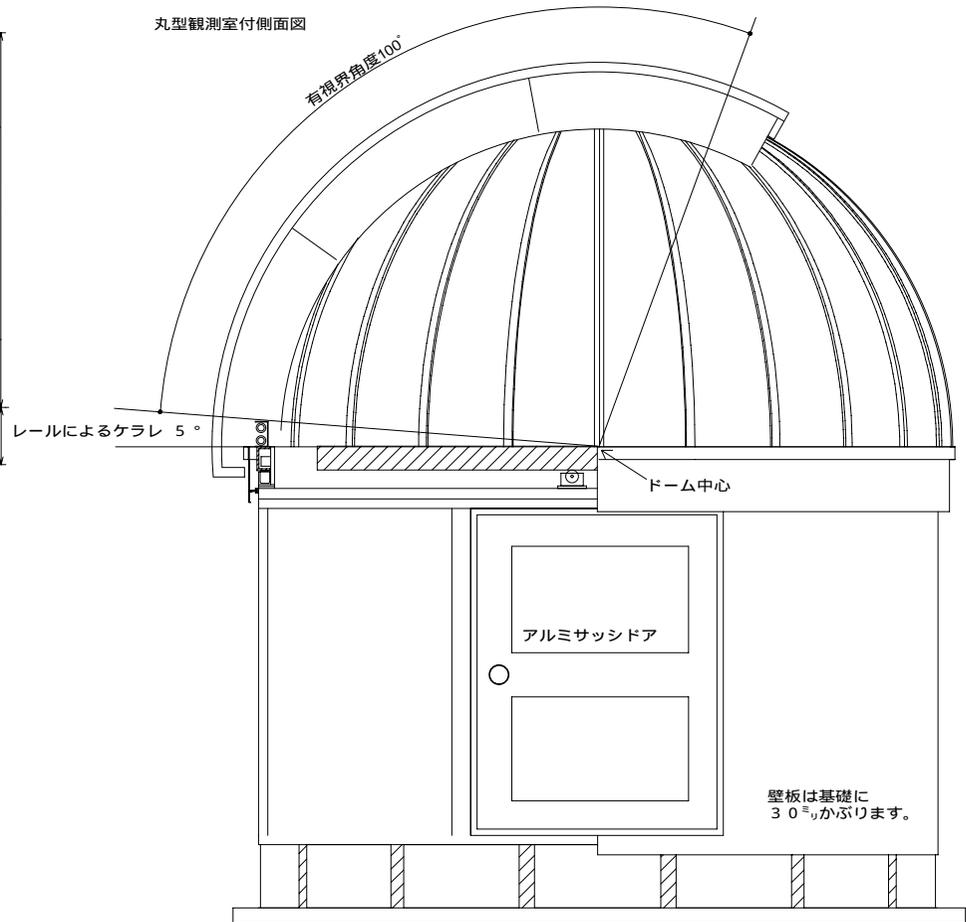
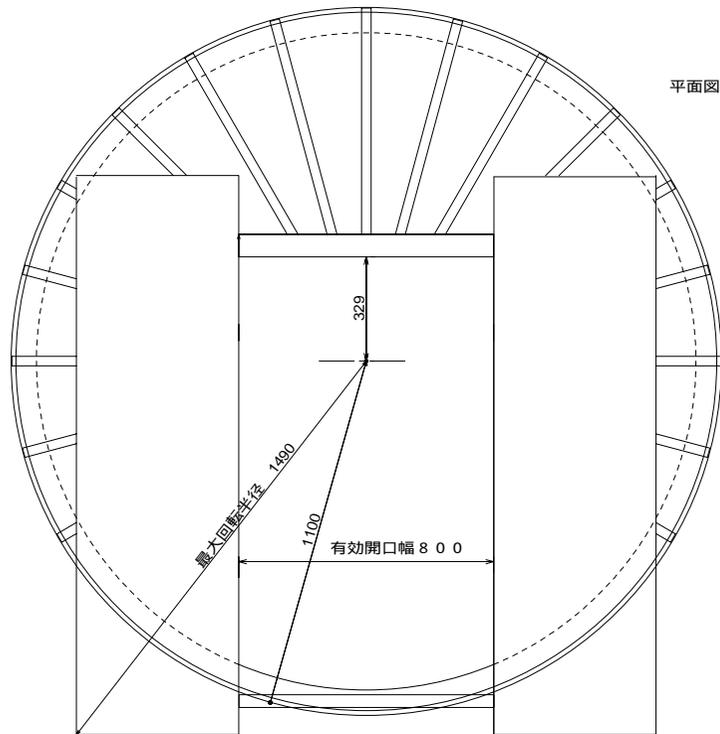
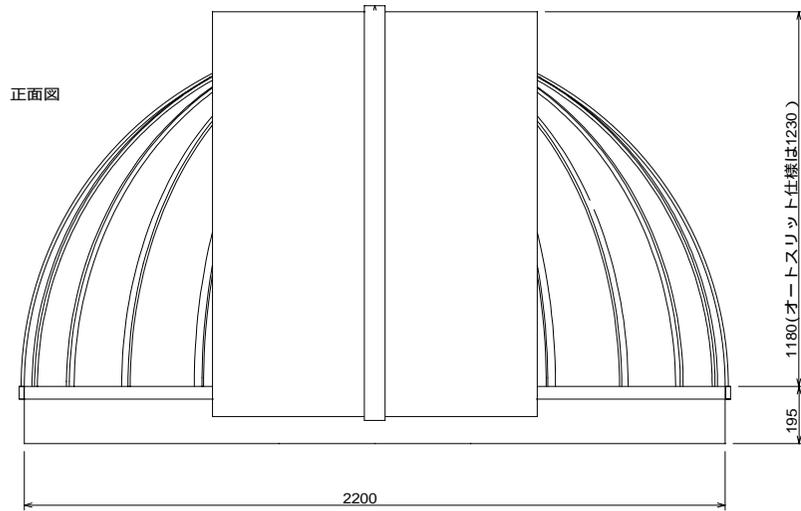


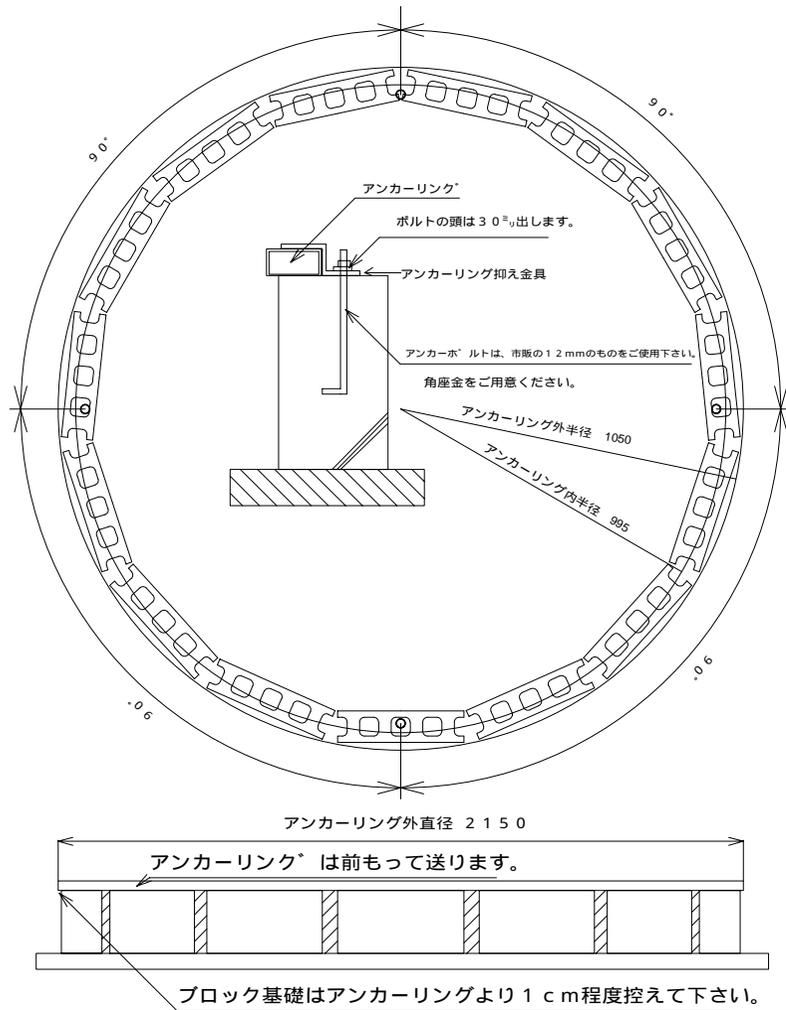
2.2m ドーム基本図



観測室の高さについて
一般的にニュートン式の反射望遠鏡を使用する場合は1100 - 1300mm
屈折式・シュミットカセグレンを使用する場合は1300 - 1500mmが必要です。

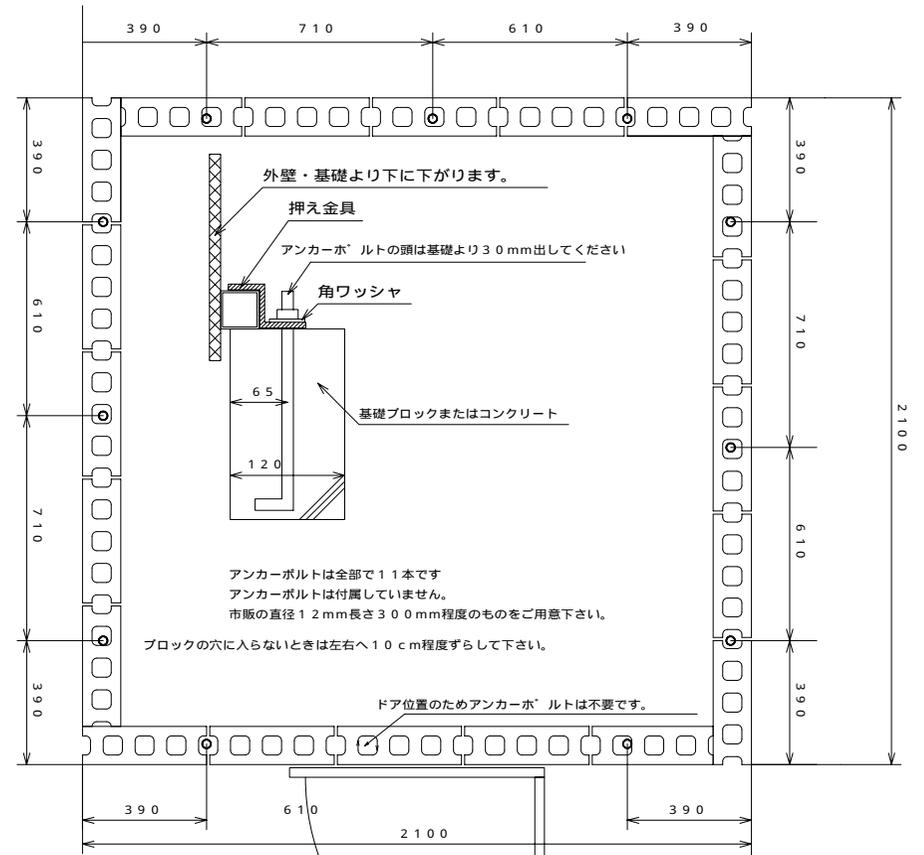
ドーム仕様		観測室仕様	
骨組み	軽量鉄骨製	骨組み	軽量鉄骨製
外装	18-8 (SUS304) ステンレス塗装仕上げ	丸型外装	カラー鉄板 0.8ミリ使用、ジョイント7 ^φ ×3 ^φ FB
骨組み塗装	鋼管は亜鉛メッキ仕上 その他の部分は常温亜鉛メッキ塗料ローバル使用	角型外装	サイジング 芯材 硬質発泡ウレタン15ミリ
回転車輪	M C ナイロン製 60 4個	骨組み塗装	ドームに同じ
強風時固定金具	4個所	観測室重量	80kg
付属品	スリットワンタッチロック、ドーム固定ドライバー		
ドーム重量	233kg		
回転用モーター	オプション 100V・40W・1A		
開閉用モーター	オプション 100V・40W・1A		

2 .2 m ドーム丸型観測室基礎参考図面



アンカーリングは前もって送ります。現物合わせで施工してください。

2 .2 m ドーム角型観測室基礎参考図面



2.2 m

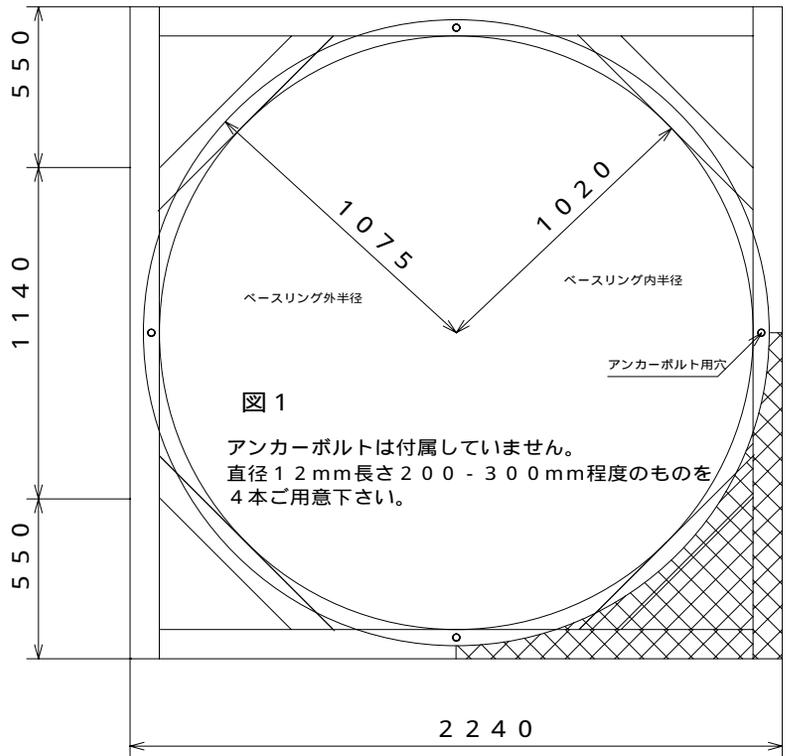


図1
アンカーボルトは付属していません。
直径12mm長さ200 - 300mm程度のものを
4本ご用意下さい。

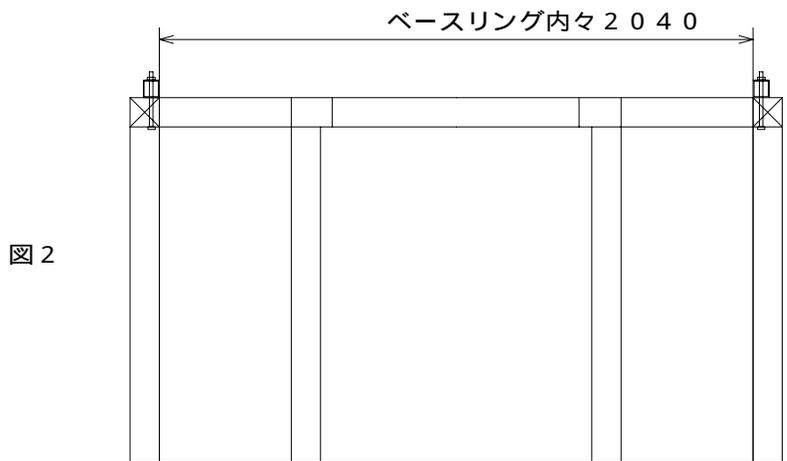
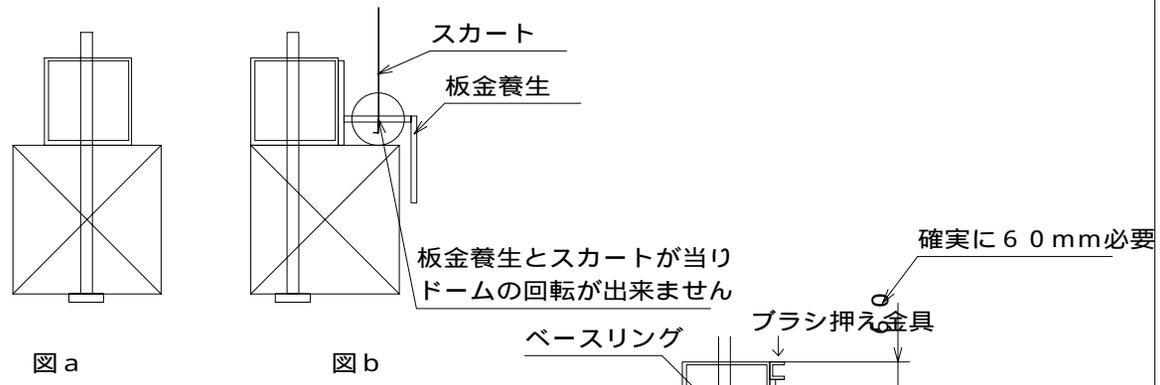


図2

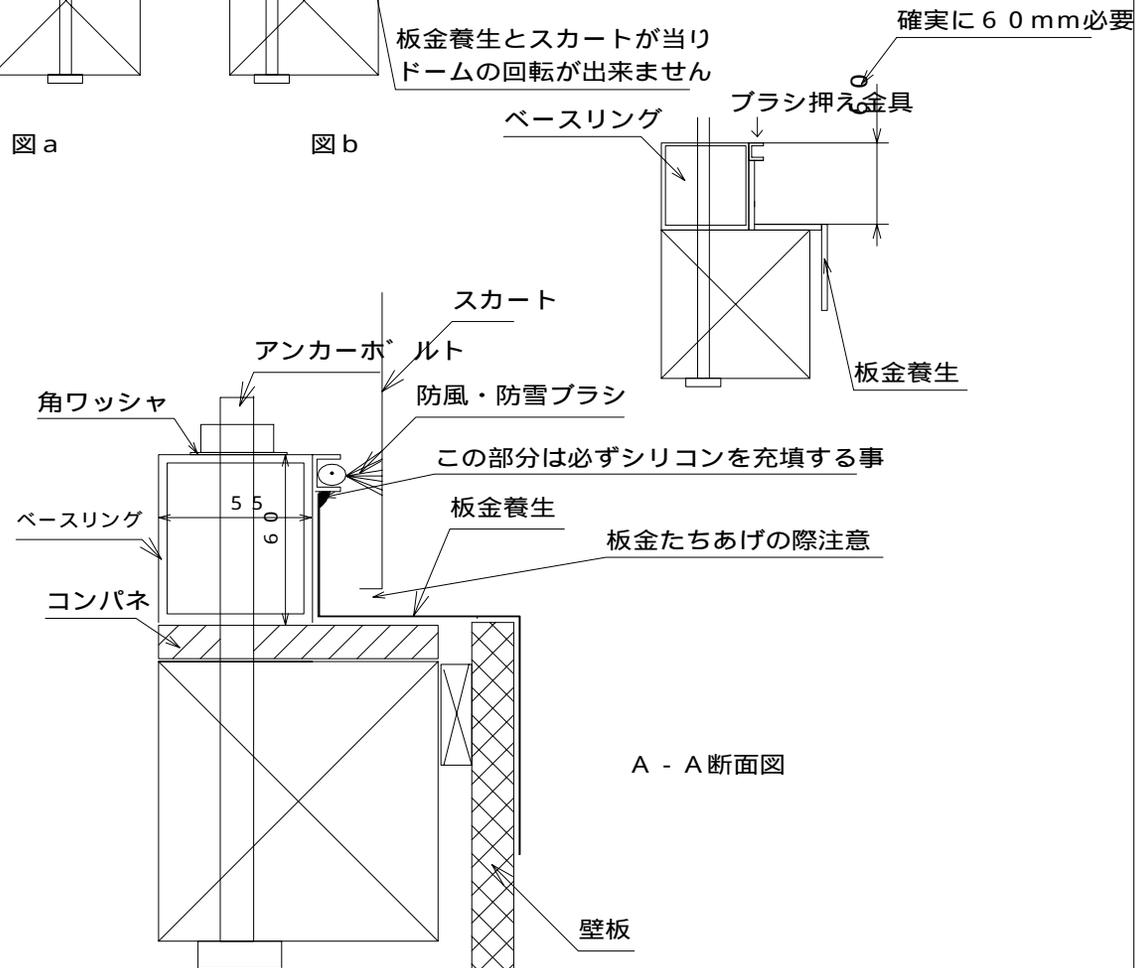
木造観測室製作上の注意点

- 1 まずこちらよりベースリング外直径(2,150)2分割したものを現場へ送ります。
- 2 ベースリングにはアンカーボルト用の穴が4カ所あいていますがアンカーボルトは付いていません。
- 3 ドームとの取り合いの注意点は断面図A-Aのスカートと板金養生の間隙です。図b
- 4 スカートと板金との隙間は15mm程度で板金繋ぎ目を立ちあげたりするとスカートが擦ります。
- 5 アンカーボルトは内部を最大限活用するため材木の芯を内側にずらしてありますが材木の芯に持ってきてても差し支えありません。(内部は少し狭くなります)図a



図a

図b



A - A 断面図